

ハノイ市ロンビエン区 サービスアパートメント 新築工事



株式会社長谷工コーポレーション 海外事業企画部 長谷工・ヒムラムBC CT1プロジェクト新築工事作業所所長

田口雅克

Masakatsu Taguchi



リビング・ダイニング



ジム(18階)



正面エントランス



世界で活躍する
日本の建設企業

敷地面積一、六二六平方メートル、建築面積六二〇平方メートル、延床面積一、七六二平方メートル、鉄筋コンクリート造地上二八階地下二階、戸数一一〇戸、共用施設として一階に日本食レストラン、ミニショップ、一八階にジムがあり、着工は二〇一五年三月、竣工は二〇一七年二月末を予定している。

今回長谷工としてこだわったのは、日本国内と同様に安全、安心、快適な住まいをベトナム

工事概要

ことにある。

プロジェクトの紹介

ベトナム国の紹介

二〇一六年リオデジャネイロ・オリンピックで、ベトナム人史上初の金メダリストが誕生した。男子一〇メートルエアピストルのビン大佐である。ベトナムの人口は九、〇〇〇万人を超えアセアン諸国中第三位、平均年齢は二九歳と、日本の四六歳と比較して非常に若く、活気に満ちた国である。一人当たりGDPは二、〇〇〇ドルを超える水準であるが、都市部ではそれを上回る。また、コーヒー豆の生産量は世界第二位である。街中はバイクで溢れているが、徐々に自動車に移行しつつあり、渋滞解消・環境改善のため公共交通機関の整備が待たれるところである。



完成予想外観パース

本プロジェクトは、日本人の居住を念頭に企画したサービスアパートメント(名称:「THE AUTHENTIC」)である。立地はハノイ市中心部へ車で約一五分、またノイバイ国際空港(同約三〇分)や各工業団地へのアクセスの良い、ハノイ市東部ロンビエン区に位置する。ロンビエン区においては初の外国人向けサービスアパートメントであるが、近くには昨年十月にイオンモールが開業し、ゴルフ場にも近接しており、日本人駐在員が生活するには利便性の高い立地である。今回はこの周辺の開発を手掛けるヒムラムBC社と協力し事業化、工事を請け負った。本プロジェクトの位置づけは、ベトナムでジャパンクオリティのアパートを建設し、この物件をアンテナプロジェクトとして、当社の設計・施工による集合住宅案件をベトナムで展開する

で実現することである。そのため、ベトナムで手に入る資材を当社の技術研究所で性能実験を行い、またハノイの既存集合住宅室内の年間を通じた気温、湿度等の生活環境データを収集し、使用資材、仕様の決定を行った。また施工現場における安全、品質管理においても日本に出来るだけ近づけるように、『きれいで、働きやすく、正しい管理をする』をスローガンに、まずは作業員が安全に作業できる現場環境を作り、その環境で作業してもらうことが優れた品質につながるという信念をもって施工管理を行っている。

終わりに

本プロジェクトは、当社がゼネコンとして海外で初めて施工する集合住宅案件であり、経験値ゼロからスタートした。そのため調査段階から施工に至るまで苦労が絶えなかったが、現地の優秀なスタッフ、向上心のある協力会社や友好的な作業員のおかげで、現場は二〇一六年六月二十七日に躯体が上棟した。現在は仕上げ工事の最盛期を迎えており、竣工に向け今後さらに現場全員で力を合わせていきたい。そしてこのプロジェクトを端緒に、日本と変わらない安全、安心、快適な住まいの良さをベトナムに広めていきたいと思う。